

EUSI メールマガジン Vol. 066

「欧州議会の貿易関連小委員会を見学して」(中西優美子)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 048】

「欧州議会の貿易関連小委員会を見学して」

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 執行委員)

2015年3月14日から22日までベルギーにEUSIプロジェクトのため出張した。その中で18日と19日にブリュッセルにおかれている欧州議会を訪問した。今回は、その2日間にわたって行われた、欧州議会の貿易関連小委員会のお話をしたいと思う。

15年にわたってEU法を大学で教え、欧州議会の構成、役割及び権限については、常に講義項目であり、EU条約及びEU運営条約の条文に基づき教えてきた。今回、初めて、実際の審議がどのように行われるかを体験するという貴重な機会に恵まれた。私が参加したのは、20ほどある欧州議会の常設の小委員会のうち、貿易関連の小委員会(Committee on International Trade、以下INTAと略)の審議である。

欧州議会議員は、現在751名いるが、それぞれが複数の委員会に属している。INTAは、Bernd Lange(ドイツ人、社会民主主義者グループPSE)を議長とする、80名の議員で構成されている。欧州議会の本会議では、政党グループごとに着席するが、小委員会では議員が自由に席を選んで座っていた。議員自身が出席している場合もあれば、代理人が出席している場合もあった(それは席に掲げられているネームカードの色で見分けられる)。私は、知人の欧州議会職員 Enrico d'Ambrogio 氏のおかげでいい席に座ることができた(議員以外も空いていればどこに座るのも自由であった)。

1日目の午前中は、最初は、現在EUと日本がFTA(自由貿易協定)を交渉中であるということを受けて、EU大使である、片上慶一氏との約1時間の意見交換会が行われた。片上氏が30分ほど日本の状況を説明し、欧州議会議員の5、6人の方がそれについて質問をし、それに片上氏が回答するという形で行われた。その後、アメリカとEUとの大西洋の貿易投資パートナーシップ協定(Transatlantic Trade and Investment Partnership, TTIP)の交渉に関する欧州委員会への勧告をだすための審議がなされた。これについては、事前にINTAの議長である、Lange氏が報告書案を提出しており、その案を中心にして審議がすすめられた。最も議論されていたのは、投資家対国家紛争解決(Investor-to-state dispute settlement、以下ISDSと略)のことである・・・。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol48.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI シンポジウム「EU 環境法の現代的課題 Part II」

日時: 2015年4月21日(火) 13:00-17:00

場所: 一橋大学国立キャンパス佐野書院

言語: 英語

参加: 無料・事前申込み要

1. 名前(フリガナ)、2. 所属を記入し、4月17日(金)までに eメールで EUSI 事務局 (info@eusi.jp) にお申込みください。

13:15-14:30 ハンス・ゲオルグ・デーデーラー (ドイツ・パッサウ大学教授)

「EU における遺伝子組み換え作物規制の動向と課題」(仮)

14:45-15:30 高村ゆかり (名古屋大学教授)

「気候変動法の国際的動向と課題—日本における実施を視野に入れて」(仮)

15:30-16:15 アンドレア・オルトラニ (一橋大学講師)

「日本における環境損害賠償責任」(仮)

16:15-17:00 中西優美子 (一橋大学教授)

「動物倫理と貿易」(仮)

司会 川崎恭治 (一橋大学教授)

<http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/20150421-law/>

2. EUSI ワークショップ

日時: 2015年4月23日(木) 14:40-16:10

場所: 一橋大学東キャンパスマーキュリータワー5階 EUSI 会議室 3503

講演者 ハンス・ゲオルグ・デーデーラー (ドイツ・パッサウ大学教授)

「日本と EU 間の FTA 及び戦略的パートナーシップ協定」

コメンテーター兼司会 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20150423-law/>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 執行委員)

「EU 欧州中央銀行の OMT 決定に関する先決裁定を求めるドイツ連邦憲法裁判所の決定」【EU 法における先決裁定手続に関する研究(10)】

『自治研究』第 91 巻第 3 号(2015年3月) 96-107 頁

【EU に関するニュース】

2015年3月2日 モゲリーニ上級代表ら、第 11 次欧州開発基金執行開始声明。2020 年までに 306 億ユーロ

2015年3月2日 EU・ロ・ウクライナ三者エネルギー閣僚会談、冬季パッケージの完全適用で合意

2015年3月2日 Eurostat、1月失業率(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国 11.2%、EU28 カ国 9.8%と共に縮小

2015年3月2日 Eurostat、2月消費者物価指数はユーロ圏 19 カ国で前年同月比-0.3%とデフレ傾向顕著に

2015年3月3日 欧州環境機関(EEA)、欧州の環境報告書 2015 発表。過去 5 年実績や課題など包括的に指摘

2015年3月3日 EU 及び英仏独伊米首脳、地球規模安全保障課題テレビ会議。ウクライナやリビア等協議

2015年3月3日 欧州銀行監督機構、EU 域内主要銀行健全性審査は今年実施せず透明性調査のみと発表

- 2015年3月3日 ギリシャ中銀、1月国内銀の ECB 借入額は 822.4 億ユーロで前月比+47%、ECB 依存度高まる
- 2015年3月3日 韓国貿易協会・国際貿易研究院、2014年韓国対 EU 貿易収支は-107億ドルと過去最高赤字
- 2015年3月4日 Eurostat、1月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏 19カ国前月比+1.1%、EU 全体同+0.8%
- 2015年3月4日 日本・EU 友好議員連盟総会、衆議院で開催。日・EU 間の EPA・SPA の問題等を協議
- 2015年3月4日 英 Markit Economics 社、2月総合購買担当者指数(PMI)改定値はユーロ圏で 53.3 と改善
- 2015年3月5日 ECB 理事会、金利据置き、9日より債権購入、本年ユーロ圏 GDP+1.5%、インフレ率 0.0%
- 2015年3月5日 欧州委員会、「男女平等に関する年次報告書」発表。加盟国間の男女間差別拡大等指摘
- 2015年3月6日 EU 環境理事会、2030年までに排出量 1990年比 40%削減の自主的目標案(INDC)採択・提出
- 2015年3月6日 EU 外務理事会非公式会合、ウクライナ危機やリビア情勢など協議、16日に閣僚理事会
- 2015年3月6日 ギリシャ、ユーロ圏諸国に改革案提出。歳出削減の財政審議会や素人脱税調査員採用等
- 2015年3月6日 EU 海軍部隊「バイエルン」、海自護衛艦「はるさめ」とアデン湾で合同戦術的通信訓練
- 2015年3月6日 Eurostat、昨年 10-12月 GDP(改定値)はユーロ圏 18国で前期比+0.3%、EU28国で同+0.4%
- 2015年3月7日 マリでテロ事件、EU 訓練部隊隊員含む 6名殺害。モグリーニ上級代表、哀悼と対応の声明
- 2015年3月8日 ユンカー委員長、ロシアに対する抑止力確保のため EU 共通の軍事力創設に言及
- 2015年3月8日 ティーマーマンス第一副委員長ら、国際女性デーに寄せ EU の男女平等取組み等の共同声明
- 2015年3月9日 トゥスク常任議長訪米、オバマ大統領と会談、ウクライナ危機や対ロ制裁、TTIP 等協議
- 2015年3月9日 ユーロ圏財務相会合(ユーログループ)、ギリシャ支援に向けトロイカと協議開始を決定
- 2015年3月9日 ECB、量的緩和(QE)策として国債含め資産購入開始。月額 600億ユーロ規模、来年9月まで
- 2015年3月9日 安全保障と防衛に関する日・EU セミナー開催。外務省・EEAS 実務責任者と有識者ら協議
- 2015年3月9日 ドイツ学術交流会(DAAD)東京事務所、学生らとメルケル訪日や欧州研究に関する懇談会
- 2015年3月10日 EU 経済財務理事会、欧州戦略的投資基金(EFSI)や仏の赤字削減目標延長を承認
- 2015年3月10日 ティーマーマンス第一副委員長ら、欧州テロ犠牲者追悼デーに寄せて共同声明発表
- 2015年3月10-11日 野球日本代表 vs 欧州代表、東京ドームで開催。第1戦 4-3 で日本、第2戦 6-2 で欧州勝利
- 2015年3月11日 ストルテンベルグ NATO 事務総長、ユンカー委員長の EU 軍創設発言に重複で非効率と言及
- 2015年3月11日 IMF、ウクライナ向け追加融資プログラム承認。4年間で 175億ドル相当
- 2015年3月11日 駐日 EU 代表部・JICA、欧州開発報告書 2015 発表セミナー開催。本年度報告書など議論
- 2015年3月12日 ECB、ギリシャ銀向け緊急流動性支援(ELA)の上限を 6億ユーロ分増額することで承認
- 2015年3月12日 クーレ ECB 専務理事、ECB の量的緩和(QE)による債券購入は 3日間で 98億ユーロと言及
- 2015年3月12日 アイスランド、EU 加盟交渉打ち切り。現右派政権成立や EU 漁獲枠制限の懸念等が要因
- 2015年3月12日 OECD 及びギリシャ、同国の改革プログラムに対する OECD 支援合意文書に調印
- 2015年3月12日 Eurostat、1月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏 19カ国前月比-0.1%、EU28カ国前月同
- 2015年3月12日 財務省、2014年貿易収支(確定値)は対 EU 輸出 7.59兆円・輸入 8.17兆円で 5835億円赤字
- 2015年3月13日 ユンカー委員長、ツイプラス・ギリシャ首相と会談。ギリシャ支援協議の必要性で一致
- 2015年3月14日 欧州委員会、バヌアツのサイクロン被災に対し 100万ユーロの支援と専門家派遣
- 2015年3月14-18日 第3回国連防災世界会議、仙台で開催。EU からはゲオルギエヴァ副委員長ら参加

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、一橋大学大学院法学研究科の中西優美子教授に執筆していただきました。

先般訪欧された際、ブリュッセルで欧州議会の委員会を傍聴された様子をリアルに書いていただき、大変興味深い内容となっています。

欧州議会では、その本会議(全体会合)をほぼ毎月フランスのストラスブールで開催するとともに、本会議のミニセッションと各委員会についてはブリュッセルで開催することとしています。また、議会事務局はルクセンブルクに置かれ、

議員や職員は頻繁に3都市間や自分の地元との間を移動せざるをえず、その非効率性が以前から問題となっています。詳しく書く余裕はありませんが、民主主義は必ずしも効率を第一とはしないとも言われています。本会議場には広い傍聴席がありますが、今回、委員会室で委員と一緒に席に座られたとのこと、ケース・バイ・ケースでしょうが少し驚きました。また、委員会での審議の様子をここまで具体的に描写しているものは、ほかにはちょっと思い当たりません。

EUSIでは、現在、新年度の事業計画を作成中です。前回の巻頭エッセイでも取り上げましたが、日・EU間の議会間交流の問題やEUの意思決定過程をテーマとしたプロジェクトも検討中です。2015年度も多彩なプロジェクトを用意しているEUSIの活動にご理解とご協力をお願いいたします。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

ここ最近EUに関する書籍や雑誌の特集が多くなってきたような印象を受けます。記憶に新しいところでは、『週刊東洋経済』が「1冊まるごと欧州」(2015年3月7日号)という特集号を刊行しました。さすがに完全保存版と銘打ってあるだけあってデータや地図情報を駆使し欧州の危機や各国の直面する問題などの力の籠もった特集記事が多く、雑誌の特集としても読み応えがありました。それに対して『ニューズウィーク日本版』は「EUの挫折」(2015年3月10日号)という特集号を出しました。こちらはギリシャ問題や移民・雇用問題やEU懐疑主義の台頭など、週刊東洋経済の特集号に比べてよりネガティブなトーンが多い内容となっています。

またたまたまタイミングが重なりましたが、EU研究に関する大変興味深い専門書がいくつか刊行されます。まずEUIJ関西の顧問市川頭・関西学院大学准教授の編著『EUの社会経済と産業』(関西学院大学出版会、2015年)が3月31日に刊行されます。これはEUの産業(特に自動車産業)や中小企業政策やコーポレート・ガバナンスなどのテーマ毎に講義録の形でまとめた、EUIJ関西の研究成果物として刊行されます。

そしてEUIJ早稲田で代表を務めておられる中村民雄・早稲田大学教授の単著『EUとはなにか 国家ではない未来の形』(信山社、2015年)が現代選書シリーズとして信山社より4月1日刊行されます。これは欧州統合の歴史からEUの仕組み、国際社会の中でのEUの関わり、そして今後のEUのゆくえなど、EUに関する一般向けのテキストとして広く参照されることになるでしょう。

そして、今号巻頭エッセイを寄稿して下さったEUSI執行委員の中西優美子・一橋大学教授の単著『EU権限の判例研究』(信山社、2015年)が、同じく信山社より3月30日に刊行されます。こちらは、次回先生よりどのような内容の本かご紹介を頂く予定です。おたのしみに。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
